

寄贈品コーナーの展示

海軍火薬廠

海軍火薬廠第一工場成形場



海軍火薬廠

明治38年、平塚町及び大野村にまたがる地域に設立された日本爆発物製造会社は、大正8年海軍が買収し、新たに海軍火薬廠として発足しました。

火薬廠は、昭和14年の海軍火薬本廠、昭和16年の第二海軍火薬廠と改称を遂げながらも、大戦末期、火薬製造能力約9000噸／年を誇る國

内有数の火薬製造工場として位置づけられます。

昭和20年の敗戦により廃廠され40年、ここ平塚に火薬廠があった事実も忘れ去られようとしています。

火薬廠に関する資料の展示を通して、今一度、火薬廠を思い起こしてみたいと思います。

○○○ 8月の行事 ○○○

1	木	プラネタリウム
2	金	サマーセミナーガイダンス
3	土	プラネタリウム、古文書講読会
4	日	プラネタリウム、地層観察会
5	月	(休館日)
6	火	星を見る会
7	水	プラネタリウム、サマーセミナー
8	木	プラネタリウム、デッサン教室
9	金	
10	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
11	日	プラネタリウム
12	月	(休館日) 天体観察会
13	火	体験学習「縄文土器を作ろう」
14	水	プラネタリウム
15	木	プラネタリウム
16	金	
17	土	プラネタリウム、古文書講読会 特別展史跡めぐり
18	日	プラネタリウム、特別展講演会
19	月	(休館日)
20	火	
21	水	プラネタリウム
22	木	プラネタリウム
23	金	自由研究相談会
24	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
25	日	プラネタリウム
26	月	(休館日)
27	火	自然観察入門講座「水生生物を調べる」 星を見る会
28	水	プラネタリウム
29	木	プラネタリウム
30	金	
31	土	(休館日)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 夏休みのプラネタリウム ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

●夏休みの投影テーマ

「こと座ものがたり」

夏の空高く輝くこと座は、言いつくせぬ物語を私たちにむかって語りかけているみたいですね。ギリシャ神話に語られる、この星座の伝説を紹介しましょう。

毎日の夜見られる星座と星たちの見方、「こと座ものがたり」、「ハレー彗星情報」の内容で毎回投影します。

○投影開始時刻

	水曜日	木曜日	土曜日	日曜日
団体	11:00	11:00	11:00	
一般	14:00	14:00	14:00	11:00

一般向け観覧券は、当日の朝9時より一階受付で発売します。また、団体投影で空席がある場合は、空席分を発売します。

○団体観覧の予約

夏休み期間中の、水曜、木曜、土曜の午前11時の回は、団体投影用です。

団体で観覧をご希望の方は、博物館管理係へ電話でご予約下さい。20人以上で団体扱いとなります。料金は3割引となり、1人70円です。

夏期特別展「相模川流域の横穴墓」開催中（8月30日まで）

★☆行事案内☆★

●自由研究相談会

夏休みの自由研究について、考古・歴史・民俗・美術・生物・地質・天文の各分野の学芸員が、資料やまとめ方の相談に応じます。

日時 7月26日(金)、8月23日(金)

10時~15時

場所 博物館科学教室

●自然観察会「貝化石を調べる」

9月1日(日) 大磯町西小磯海岸

(雨天中止)

申込み 8月20日までに、往復はがきで博物館まで。多数の場合は抽選により30人まで。

●星を見る会

「惑星と月を見よう」

7月26日(金) 18時30分~20時

「夏の星座」

8月6日(火) 18時30分~20時

「惑星と月を見よう(2)」

8月27日(火) 18時30分~20時

場所 博物館科学教室・屋上

博物館の望遠鏡で観察します。参加自由。

●体験学習「星座早見を作ろう」

星座をさがしたり、見える時刻を調べるのに便利な星座早見盤を作り、使い方を実習します。

日時 9月21日(土) 16時~19時

場所 博物館科学教室

材料費 200円(当日集めます)

申し込み 9月8日までに、往復はがきでお申し込み下さい。多数の場合は抽選により30名まで。



●史跡巡り参加募集

特別展「相模流域の横穴墓」の開催にあわせて、大磯町に所在する横穴墓群を歩いてみます。

日時 8月17日(土)

講師 鈴木一男氏(大磯町教育委員会学芸員)

申込み 参加希望の方は、8月7日までに、往復はがきに住所・年令等を明記して、博物館までお申込み下さい。(多数の場合は抽選)

●自然観察入門講座(生物)

「水生生物で川の汚れを調べる」

川の石や砂の間でくらしている、昆虫などの小動物を調べ、その種類から川の汚れを知る方法を学びます。

日時 8月27日(火)~29日(木) 3日間

場所 27・28日 野外調査

(金目川、相模川)

29日 まとめ(博物館)

対象 小学校5年生以上

申込み 8月10日までに、往復はがきで博物館まで。多数の場合には抽選で30人。

■特別展「相模川流域の横穴墓」(特別展示室)



講演会「余綾・大住郡の横穴墓」

8月18日(日) 13時30分

講師 杉山博久氏

来た！ハレー彗星

ハレー彗星の軌道！ 逆まわりのハレー彗星

ハレー彗星は太陽のまわりをまわる天体の一つです。太陽系の一員ですから、地球のなかまなのですが、地球とはずい分ちがう軌道（きどう）を描きます。

太陽のまわりをまわる天体はすべて、円すい曲線（二次曲線）と呼ばれる軌道を描きます。円すい曲線とは、図1のような円すいを、たて、横、ななめなどの平面で切った時の切り口を作る曲線です。

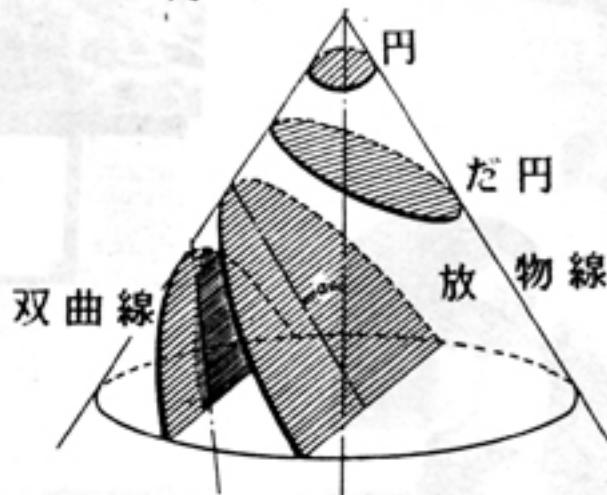
ま横に円すいを切ると、円。ななめに切ると、だ円。切り口の両端が閉じずに平行になるように切ると、放物線。放物線を作る平面より深い角度で切ると、双曲線となります。

円やだ円の軌道を描く天体は太陽のまわりをまわりますが、放物線や双曲線を描く天体は二度ともどっこないことになります。

地球などの大きな惑星はみな、円に近いだ円軌道を描いていますが、小さな惑星（小惑星）や彗星の中には、細長いだ円軌道を描くものが少なくありません。彗星の中には、放物線や双曲線軌道を描いて飛び去ってゆくものもあります。

また、地球などの大きな惑星は、ほぼ同一の平面上を、同じ向きにまわっています。その平面とは、地球が太陽のまわりをまわる軌道面で、黄道（こうどう）と呼んでいますが、大きな惑星たち

円すい曲線



は、ほぼ黄道面上を動いており、最も速い冥王星を除くと、太陽に近い水星が角度で7度傾いている他は、3.5度以内に収まっています。

太陽系はちょうど一枚の大きな円盤の上に太陽を中心として惑星たちを描けるくらいです。

ところが、彗星の軌道はまちまちです。今までに軌道が計算された710個の彗星のうち、121個が200年以内の周期のだ円軌道を描き、169個は200年以上の長い周期のだ円、316個は放物線、104個が双曲線軌道です。

黄道に対する傾きもまちまちです。黄道に対してほぼ直角の傾きを持ったり、地球とは逆向きにまわったり、と好き勝手な軌道を描いているように見えます。

ハレー彗星はどんな軌道を描いているのでしょうか。

ハレー彗星は76年に一度太陽に近づきます。ハレー彗星の周期は76年で、だ円軌道を描いています。太陽に一番近く時で8,800万km、遠い時で53億kmと、はるか海王星の外まで行ってしまいます。

ハレー彗星の軌道と黄道との傾きは約162度になります。直角は90度ですから、直角を通りこしています。すなわち、ハレー彗星は地球から見ると地球とは逆まわりに太陽のまわりをまわっていることになります。

